



平成26年度 吉野町協働のまちづくり推進交付金 採択事業

吉野町では、平成22年度より、地域を根ざした住民活動団体が取り組む自主・自発的な公益的な事業について、公募により助成を行う『吉野町協働のまちづくり推進交付金事業』を実施しています。平成26年度には、8団体からの応募があり、申請団体や申請事業に関する「熱意・個性」、「公益性」、「計画性と費用対効果」、「先駆性・発展性」等の観点から審査会において審査を行い、下記の8団体(事業)が採択されました。

各事業の実施報告内容について掲載しますので、町内で活動される取り組みなどの参考にしてみてください。

回数	団体名	事業名	事業の概要
1 1回目	菜摘ファーム	果樹園(無花果)の運営事業 	<p>【概要】</p> <p>休耕地の再利用(果樹園:無花果農園として利用)と人材の適材適所な活用及びグループ化することによって、一人ではできなかった活動を提案し、地域の活性化、地域コミュニティの形成に貢献します。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>初年度として、無花果栽培のための整地作業、有害鳥獣防護柵の取り付け、作付けの勉強会、苗床の整地作業などの準備作業となりました。協力者から情報や資材の提供があり、地元との協力体制が出来てきました。</p>
2 1回目	吉野・富良野交流の会	吉野・富良野交流の会 	<p>【概要】</p> <p>吉野町中庄地区と北海道富良野市御料地区の交流会を通じ、お互いの観光交流を図ることにより吉野町の活性化に寄与する。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>富良野市のメンバーで“富良野・吉野の会”が発足され、里帰りに合わせて「ふるさと元気・吉野まつり2014」での活動PRすることができました。来年度は、吉野町から富良野市へ桜の植樹を行う予定をしています。こういった取り組みから富良野市(御料地区)との交流人口の増加に繋がりたいです。</p>
3 1回目	bunko café 木の子	文庫カフェ	<p>【概要】</p> <p>小さなお子さんと一緒に立ち寄れるカフェのような気軽な、お母さん方の居場所づくり情報発信を行います。情報交換のできる参加型の空間の利用にとり孤立をしないように誰もがお茶を飲みながらゆっくりとくつろげる場所づくりを行います。</p>

			<p>【平成26年度】</p> <p>立ち上げ一年目として運営のノウハウを身につけるために実施を行いました。お母さん方が行うワークショップなどを通じて、交流をはかることができました。今後は、カフェの宣伝などを積極的に行っていき、カフェのスタッフがお母さん方をつなげるようなサポートを行っていきます。</p>
4	1回目	<p>NPO法人吉野・千年の森</p> <p>森の学校 吉野宇宙基地プロジェクト</p> 	<p>【概要】</p> <p>吉野町内の山々に放置される間伐材の利活用と、木材の流通を促進するため木の良さを伝える活動を行う。①子どもたちに木の文化を伝える。②森に興味をもってもらう。③自然とふれあうことで子どもたちの創造力をはぐくみ、未来への夢を持ってもらえるような活動に。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>吉野山にて、間伐材のドームや木工作品をつくるイベントを実施。親子連れ6名の参加がありました。子どもたちが創る木の椅子はさまざまなアイデアにあふれ、手を動かすことで発想力が広がりました。森に入ることの楽しさや木を活かす方法などを体験していただきました。</p>
5	2回目	<p>吉野川左岸の景観を守る会</p> <p>樹木・花の植え付け・管理等の事業</p> 	<p>【概要】</p> <p>吉野川左岸の堤防沿いの景観を維持することを目的として、樹木の管理及び花の植え付け等を実施します。吉野川左岸の道は、吉野高校の通学路や住民の散歩道として利用されており、堤防からは吉野川の水鳥や野鳥が観察できます。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>キンバイ・ヤマブキ・アジサイ・コスモス・ヒマワリなどを植えました。春の活動では、吉野小学校や吉野高校の生徒たちとともに花の苗を植えるなどして、地域の方に活動を知っていただいています。</p>
6	3回目	<p>中竜門生きがい見附</p> <p>野菜ファーム</p>	<p>【概要】</p> <p>地元住民が休耕田を活用し農作物を育て、収穫、加工、出荷することで、住民同士が交流を深め、住民の生きがいづくりを目指します。</p>

			<p>【平成26年度】</p> <p>収穫した農産物を「ふるさと元気・吉野まつり」で販売したり、地元老人会等と交流をはかりするなど地域に根付く活動として認知されてきました。活動を維持するために、販路の拡大や会員を増やすことが当面の目標です。</p>
7	3回目	<p>国栖の里 ほりおこし会</p> <p>惣菜宅配サービス事業に係る 地産地消野菜作り事業</p> 	<p>【概要】</p> <p>平成25年3月16日に国栖の里惣菜センターをオープンし、高齢化が進む国栖地区の高齢者・一人住まいの家庭の健康づくりと各家庭の見守りを目的として、惣菜宅配サービス事業を開始しました。また、惣菜の中身にもこだわり地産地消の野菜作りやお土産品の開発を行います。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>キュウリを材料にした“くにす漬”の開発とホワイト6片(白ニンニク)の栽培と販売を試みました。“黒ニンニク”としての加工を行い、「三茶屋エコ・え〜ね館」などで販売しています。</p>
8	3回目	<p>ナチュラル・ ツーリズム研究会</p> <p>ビジット吉野 -吉野の良さを世界に紹介-</p> 	<p>【概要】</p> <p>吉野の文化、歴史、自然をありのまま伝える着地型観光のモデル確率を目指し、観桜期のみの一時期型の観光地から脱却すると同時に新規雇用や季節雇用を創出し、地元住民の吉野への誇りを高め、定住化を目指します。また、インバウンド観光を導入することで、事業者自らが吉野の資源(自然、歴史、文化、伝統、食)の価値を再発見すると同時に、地域を見直すきっかけにします。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>奈良市“きたまち商店街”でおこなわれたイベントや東京新宿で行われた物産展などで外国語版パンフレットを用いてPRを行いました。また、インバウンド観光の要となる旅館を中心にした“吉野ステイ”を紹介するDVDと活動を紹介するHPの新設されました。< ">http://www.yoshinostyle.jp/inbound/contact.html#></p>